

公立大学法人神戸市看護大学 2021年度 年度計画の概要

2021年度 重点事業

- 2022年度新カリキュラム改正に向けて、中期計画等を踏まえて科目の新設・充実、実習の準備、科目の配置の見直しを行う。
- 地域連携・国際交流・生涯教育に関する「いちかんダイバーシティ看護開発センター」を設置し、事業ごとに横断的なグループを編成、事業を展開する。引き続き、神戸市等の新型コロナ感染症対応への支援に取り組む。
- コロナ禍の下、オンラインを活用し、学生の学修機会を確保するとともに、課外活動等への支援や、学生支援基金を活用した経済的理由により修学困難な学生に対して適切な対応を行う。
- コロナ禍を契機とした健康問題対策として、ICTを活用した、市民への「先行的な予防策」、訪問看護等の専門職・事業者への支援を行う。また、保健師の人材育成に取り組む。
- 広報戦略室による市内からの入学者の促進に向けた広報の強化、社会人・留学生受入など入試制度の見直しを行う。地域の看護人材の供給に向けて、卒業生の市内就職の促進や卒業生へのキャリア支援、新人教育など看護職者の人材育成・定着支援を実施する。
- 学務システム、図書情報システムの更新によりサービスの向上を図る。

第2 社会的ニーズに対応した幅広く高い能力を持つ、看護人材の育成のための取組み

1. 入学者選抜及び学部教育

◎優秀な学生の確保

- ・入試データに基づく受験者の動向等の分析による入試制度、広報のあり方の検討
- ・市内の高校生・進路指導者への周知、広報および入試における市内優先枠の検討
- ・2023年度入試から開始する社会人枠、留学生枠の設置等入試制度見直しの準備

◎教育方法・内容

- ・語学教育・情報系科目の充実、地元創成看護学実習の創設など中期計画に鑑みた2022年度新カリキュラムの改正
- ・災害看護論Ⅰ・災害看護論Ⅱでの新型コロナ感染症予防・拡大防止に向けた講義・演習の実施
- ・ICTを活用した質の高いオンライン教育に向けた枠組みの検討

2. 大学院教育

◎優秀な学生の確保

- ・定員割れの要因分析や他大学の状況調査による適正な定員のあり方の検討
- ・大学院での成績優秀者へのインセンティブ方策の実施

◎教育方法・内容

- ・前年度の調査結果を踏まえた大学院の教育課程見直しの検討
- ・オンラインツールを用いたWEB授業の積極的な導入
- ・大学院生に対する地域の保健課題の解決に貢献できる実践・研究能力育成に資する教育方法・カリキュラムの作成

3. 学生への支援

◎全学的な学修支援体制の整備

- ・LGBT 等性自認及び性的指向を理由とした差別禁止及び解消に関する基本理念に基づく仕組みの構築
- ・コロナ禍の下、後援会と連携し学生の自主的な課外活動を支援

◎特別な配慮を要する学生への学修支援の強化

- ・特別な配慮を要する学生の早期発見と学修支援に向けた教員間の連携の強化

◎生活面、健康面及び経済面の支援

- ・学生生活調査に基づくコロナ禍の学生への影響とニーズの把握と支援の実施
- ・学生支援基金等を活用した経済支援の実施

◎就職・キャリア支援

- ・就職・進学活動のための情報発信方法、キャリア面談・就職ガイダンスの運営方法の見直し
- ・卒業生への職場訪問および病院等の情報収集の実施
- ・市内病院の採用後の教育体制、福利厚生等を含めた情報の学生への提供
- ・卒後の保健師の質向上を目指す研修の実施、卒後の新人教育の検討・実施
- ・卒業生等の実態やニーズ調査の実施・分析、およびキャリア開発支援の検討
- ・学内にシミュレーション施設等を統括する体制づくり

第3 学術研究、地域貢献活動、国際交流の推進等による、大学ブランドの確立

1. 地域課題の解決や健康創造都市戦略等を担う、学術研究の推進

◎神戸市と地域に貢献する研究の推進

- ・ 先行的予防策として ICT を活用した慢性疾患管理、相談事業、多職種連携システム支援モデル事業の展開と研究成果の公開
- ・ オンライン診療等システムを提供する企業等との連携による研究

◎研究活動支援のための支援

- ・ 科研審査経験者による申請書類作成支援など科研採択プロジェクトによる科学研究費獲得の推進

◎研究倫理の確保

- ・ 研究倫理講習会の開催
- ・ 利益相反管理に関する規程等の運用
- ・ 研究教育倫理 e ラーニング (eAPRIN) 受講等による周知徹底

◎研究成果の発信

- ・ 電子媒体による査読の運用開始と問題点の抽出による査読マニュアルの改善
- ・ リポジトリの活用推進と学内の学術財産の構築による利用促進

2. 市民との連携・交流による、地域の保健医療への貢献の推進

◎地域と連携した教育研究活動等

- ・ 2020 年実施の保健師実情調査を踏まえた地域包括ケアに関する教育研究体制の継続検討
- ・ 災害看護における教育・研究・実践について、特にコロナに重点をあて、災害看護チームを中心とした事業の推進

◎市民との交流促進

- ・ 2020 年度実施の住民調査・専門職調査の結果を踏まえた地域社会のニーズに沿った市民公開講座、参加型教育プログラム提供の計画

◎地域の看護人材の供給

- ・ SNS 等による卒業生の卒業後の相談の拡大
- ・ ポストコロナを見据えた在宅ケア専門職向け研修の実施
- ・ 神戸市民病院機構との定期的な会議による教員の臨床能力と看護職員の教育能力強化に向けた相互連携システム構築の推進
- ・ 兵庫県看護協会等との連携による看護職者の定着支援に向けたコロナ禍での新人教育の検討

3. グローバルな視点を培う、国際交流の推進

◎外国人の受入れ

- ・ 留学生の受け入れ方針や体制の検討・決定

◎学生の異文化理解の推進

- ・ オンライン講演・オンライン意見交換会等を通じた海外の大学等との交流機会の提供

◎海外の大学との交流の推進

- ・ オンラインによる共同研究等も視野に入れた、在外研究と同様の学術的活動の継続的な実施方策の検討

第4 業務運営及び財務内容の改善

1. 効率的で機動的な組織運営体制を構築し、地域の発展に貢献する大学へ

◎効率的で機動的な組織運営体制の構築

- ・地域連携・国際交流・生涯教育に関する「いちかんダイバーシティ看護開発センター」の設置による新たな取り組みの推進
- ・広報戦略室を設置し、広報・入試の一元化、IR、広報機能の強化に対応する。

◎開かれた大学運営の推進

- ・外部有識者の意見を取り入れるとともに、地域の声の反映方法を検討

◎教育研究組織の見直し

- ・法人評価・自己点検評価の結果の学内での議論による教育研究組織体制の充実

2. 優れた教職員の確保育成及び特性を生かす人事・組織制度の構築

◎多様な人材の確保と教職員の能力向上

- ・新カリキュラム改正に向けた人員配置の検討、特任教員制度等のさらなる活用

◎教育連携の推進

- ・単位互換制度の見直し、近隣の看護系大学との連携の検討

◎外部人材の活用

- ・兵庫県・神戸市からの委託事業実施における特任教員等の活用と新たな外部資金獲得に向けた検討

◎人事評価制度の再構築等

- ・同一労働同一賃金を踏まえた制度改正による契約社員活用の推進
- ・教員評価制度の定着と給与・研究費への反映方法の検討

3. 教育環境の整備・充実

- ・長期保全計画に基づく計画的な施設保全の推進
- ・コロナ禍を踏まえた今後のITCを活用した教育研究環境の検討

4. 自己点検・評価による質の改善、情報公開による透明性の確保

◎自己点検・評価体制の強化

- ・分野別評価（看護教育・助産教育：2022年度受審予定）、機関別認証評価（大学：2023年度受審予定）に向けた準備
- ・学生による授業評価結果の分析を通じた改善策の検討

◎情報公開及び情報管理

- ・重要な規程のホームページでの公開
- ・広報戦略室による効率的・効果的な広報、ホームページの円滑な更新等を進める。
- ・学務システムおよび図書館ネットワークシステムの更新と管理体制の強化

5. 心身の健康と安全の確保、危機管理体制の整備、ハラスメント行為の防止

◎健康管理と安全対策

- ・定期的な安全点検の実施、教職員・学生の健康管理の推進
- ・防火・防災訓練の実施、計画的な備蓄、学生への安否確認メール訓練の実施

◎人権尊重

- ・2020年実施のハラスメント実態調査結果に基づく防止対策の検討
- ・学生・教職員へのリーフレット配付、相談窓口の周知
- ・教職員を対象とした倫理、コンプライアンス、ハラスメント防止研修の実施

6. 多様な自己収入の確保・充実と経費の適正化

◎外部資金の獲得

- ・科研獲得プロジェクトによる応募採択支援
- ・大型研究費助成金の獲得に向けた取り組み方法の検討

◎学生納付金等

- ・高等教育修学支援新制度や大学独自の減免制度を活用した経済的困窮者への対応
- ・博士論文審査手数料の新設

◎多様な収入の確保

- ・学内施設利用の有償化、利用促進策の調査検討、公開講座受講料等の検討
- ・税制面でよりメリットのある修学支援基金設置に向けた準備

◎業務の改善と経費の適正化

- ・押印の廃止やICTを活用した事務の効率化の推進